

て接着の様子を見たり、または異なる性質（親水性／疎水性）のボールを入れてみたりと、巨大細胞ならではの実験を終始興味深く聞かせていただきました。

野口先生による最後の講演では、先生がこれまでに電子顕微鏡観察などによって解明されてきた *Botryococcus braunii* の炭化水素生産や分泌・細胞外蓄積の機構などについてお話しされました。*B. braunii* は石油に代わるエネルギー資源の開発で注目されていますが、有望株を用いたバイオ燃料の生産技術確立に関するプロジェクトの研究展開もご紹介されました。ちなみに筆者も、短期間ですが *B. braunii* の増殖効率に関する実験に従事したことがあり、講演後に同調培養系の確立などについての様々なお話を直接伺うことができたことは収穫でした。

上記の演題が活発に議論された談話会本編終了後、同大学のラウンジにて懇親会が行われました。ここでもみなさんの研究議論や近況報告は尽きなかったようです。同時に、大学生協の食堂が提供する料理とは思えないような（たとえば失礼ですが）、非常に上品で美味しい料理に一同驚いていたのが思い出です。

2014年度の藻類談話会は、京都大学で開催される予定となっています。藻類の研究に携わりはじめてからの学部・大学院生時代を全て関東で過ごした私にとって、藻類談話会は西の方面でご活躍する方々と交流を広げ、深めることのできるとても良い機会となっています。関西圏だけでなく、全国からの講演者・参加者がお見えになることを期待するとともに、次回も様々な演題を楽しみにしたいと思います。

(神戸大学)



聴講する参加者（写真提供：川井浩史先生）



懇親会の様子（写真提供：幡野恭子先生）



海藻プレート

デコパージュという方法で作成する海藻プレートご存じでしょうか？有名なのは John Derian company INC. というニューヨークのブランドです。デコパージュとは、紙に描かれた模様や絵の切り抜きを貼って物の表面を飾りコーティング剤を塗り重ねていく工芸です。17世紀にイタリアの家具職人が日本の漆工芸をまねて作ったのが始まりといわれています。ネット検索でもたくさんできてますが、彼の作品はおそらく1800年代の Harvey などの図を用いて、デコパージュしたものと思われます。一皿2万円ほどですので、とても購入できませんが。

(寫田)



(撮影者：島袋寛盛)